

2、楽しさと住みよさの発信⇩水害が再来してもこの地に人が住み、人が来るためには

- (1)被災3年目、高速バスやクルマで降る人が人吉に来る
目的は何かを探る⇩直後と今との違いは？
- (2)先ず、観光の売りである球磨川下りが出来ること
- (3)観光客の受け皿OKの発信⇩旅館、ホテル、昔のお店復活、新店舗、賑わい施設計画案の発信
- (4)被災前より洗練された新デザインのまちへ⇩「水、花、みどり」のまちづくり、ヒト中心の歩くまちづくり
- 花の名所案内：お城の桜、寺院の紅葉、大畑の梅林、錦町の筑紫桜、市房の桜、街中の森づくり
- (5)人吉の昔のよか所を守り、新しい人吉のよか所賑わいの場を創る⇩その計画案を全国に発信する
- 人吉の宝⇩自然の良さ、歴史の良さ、人の良さ、まちの良さ、産業の良さ、鉄道の良さを守り、磨く
- 新しい人吉のトピック、名所、見るべきところを創る⇩新しいまちの見どころの再発掘、新発見と提示
- 名所、町名、ゆかりの地サインづくり、偉人先人の生誕地巡り、記念碑づくり



左から縦に大橋、紺屋、鍛冶屋町通り（昭和37年）

- 皆が集える場づくり⇩案内所+偉人記念館+新図書館+小ホール+避難施設を被災中心地に
- (6)人吉に人が来れば必ずと肥薩線、くま川鉄道の存在が注目される⇩鉄道の促進⇩皆がつかうが
- (7)人吉球磨に新空港「日野熊鷹エアポート」を創る⇩産業と観光資源確保+有災害時の航空路確保
- (8)以上の(1)～(7)は次の交通体系の見直し、ヒト中心の新しくクルマ社会の見直しにもつながる

3、「人吉の魅力づくり・人吉らしさ」の提案 Human's City Hitoyoshi

- 1, そこにある球磨川の自然、風景、町並み、人が大事
⇩昔の球磨川と新しい人吉の良さを再現する
- 2, 昔ながらの駅と鉄道、人吉駅と機関庫、MONOKA、大畑矢岳真幸の山線駅の元気を紹介発信
- 3, 球磨川・川辺川に景色を楽しめ、和める場をつくる⇩眺める所と、食べる所、そこで過ごし楽しむ場、子どもたちが球磨川に親しめる基地づくり⇩川の駅
- 4, 現行ダムも寿命が来て泳げる川、愛する川となる⇩水

- 源から河口までを元の自然に戻し、球磨川・川辺川流域全体をナショナルトラストにする⇩流域全体を国立の里バーミュージウムパークづくり
- 5, 今回の被災とこれまでの経験を人吉の復興を象徴する物語、映画、モニュメント、記念公園を創る

4、まちめ 心のふるさと球磨川、故郷人吉の再生

人吉のまちの魅力は、まちの人々がこの母なる球磨川の流れと共に育ち、共に生きてきたこと。ここに住む人吉の人々のこころの根の良さが、ひとよしの暮らしに息づいていることです。人吉の人のこころの回復⇩人吉の本当の復興ではないでしょうか。そのためにはこれまでと同じように、球磨川と共に生きてきたことを忘れずに復旧復興することこそが、他所にはない「故郷人吉の再生」となるのです。それは「日本のこころ、古里への帰郷」とも言い換えられるのではないでしょうか。

人吉のこの地の風景は、人吉にきた人々にとって、私たちこの地で生まれ育ったものにとって、その時代の、そ

の心に刻まれた原風景です。単にそこで見た、過ごした時間の状況というだけでなく、その人の人間形成の原点がすなわち「故郷」ではないでしょうか。

たとえ風景はなくなることも、そこに「ふるさとの古里」は残ると思います。その思いは、ダムに沈もうとした五木村も、相良村も、そして2年前に失われた球磨川流域の人々の、故郷への思いは同じものと考えます。

被災3年目を迎えた今、日本全国の皆様たちが、この人吉そして球磨川流域の復旧復活を注目してくれています。



明治末頃の川下り一番舟の光景 (坂口キミ)



球磨川の水の風情を楽しむ

す。心の故郷・人吉は五木村と同様、球磨川と共に、日本の心のふるさと、とって、しっかりと皆様の胸の中に残っているのです。

○共通のこと→改めて、新しいひとよしを創る川があり、人があり、まちがあり、ゆくりとした時間



あの頃のなごり (昭和30年代)

○その基本は↓人吉らしさを残し守ること。その核となるものは歴史のある、新しい人吉を創ること。これらの「人吉らしいまちづくり」への、その思いを発信し、少しずつ形にしていけることが大切です

人吉らしさは、人よし、川よし、人情よし。町よし、酒よし、温泉よし。のイメージです。

〈参考資料〉

- (1) 20・7・4 球磨川水害被災後の地域づくりへの一提案 くまがわ春秋第57号2020・12月号
- (2) “人吉の復興まちづくり”に向けて…シリーズその③人吉の魅力を創る2つの提案くまがわ春秋 第66巻 2021年9月号
- (3) “人吉の復興まちづくり”に向けて…シリーズその④最終回 くまがわ春秋第67巻 2021 10月号「人吉をどんな町にしたいですか？」
- (4) 私家版「これからの人吉の魅力づくり」 松本晋一 令和4年2月26日 第2版
- (5) 森明香「球磨川に学びつつける人びと」くまがわ春秋39号

2019年6月

(6) 森明香「ウイリスから現代社会の在り方を捉えなおす」くまがわ春秋51号2020年6月

(7) 柳田邦男の故郷再生元年を目指せ (熊日新聞 平成23年11月)

(8) 坂口キミさん「人吉の昔」絵画集より



海老原喜之助「一週一景 回想の人吉 球磨川①」1954.12



観音院ノ瀬より胸川新町方面を見る 22.6.19



今年の春の人吉のまち